

弥生工人の

道具箱

弥生時代の小松市八日市地方遺跡から、東アジアで初めて当時の形状のまま出土した柄付き鉄製鉈のレプリカが完成しました。

今回は、これを含め当時の工人が使った木工具と精巧な木製品を展示し、どのような道具によって木製品が作られたのかを紹介します。



実物は現在「発掘された日本列島2020」(文化庁等主催)
新潟会場(8月22日(土)～9月27日(日))に出品中



扁平片刃石斧



磨製石斧



匙の柄



砥石



蓋



刮物容器

主な展示品

資料名		資料名	
木工具	柄付き鉄製鉈	レプリカ	木製品
	青銅器 (ノミ状、鉤状)	金属製品	
	扁平片刃石斧	石製品	
	磨製石斧	石製品	
	砥石	石製品	
			ジョッキ形容器
			匙の柄
			刮物容器
			蓋
			皿

令和2年8月22日(土)～9月22日(火・祝)

石川県埋蔵文化財センター 展示室

金沢市中戸町18番地1 **入館無料** **期間中無休**

〔開館時間〕午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

〔お問合せ〕石川県埋蔵文化財センター 普及啓発担当

電話 (076)-229-4477

〔主 催〕石川県教育委員会・(公財)石川県埋蔵文化財センター

※新型コロナウイルス感染予防のため、期間の変更や見学人数を制限する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

ishikawa-maibun.jp

で検索!!

